

『俳壇』2016年12月号

私の自由時間

尾池和夫〔氷室〕

仕事を愉しむ

哲学者に倣って「自由とは、やりたくないことをやらなくていいこと」であると私は思っている。一方、起業家の若者数人が「仕事が愉しくてしようがない」と言うのを聞いてすごく共感した。

私自身は就職活動の経験がない。大学を卒業と同時に助手になれと言われ、助教授になれ、教授になってくれと頼まれ、互選で学部長に選ばれ、総長に選ばれた。ようやくそれを終えると研究所長を頼まれ、さらに京都造形芸術大学の学長になれと頼まれ、今に至る。

やりたくない仕事は断ればいいが、地球を学ぶジオパークを広める仕事も、研究も楽しい。俳句は仕事の移動中に浮かぶと書き留める。さまざまの土地でのフィールドワークを愉しむのが私の自由時間と言えるのかもしれない。

自由とはこれぞ勤労感謝の日

和夫

